

# News Letter



完成！満足のいく出来栄え



丁寧な指導で、初心者でも  
楽しく調理ができました



アジを 3 枚におろして、  
料亭のように盛りつけ

## 男の料理教室

### OLÉ'S KITCHEN がスタートしました

平成 28 年 9 月 20 日 (土) ~ 毎月開催

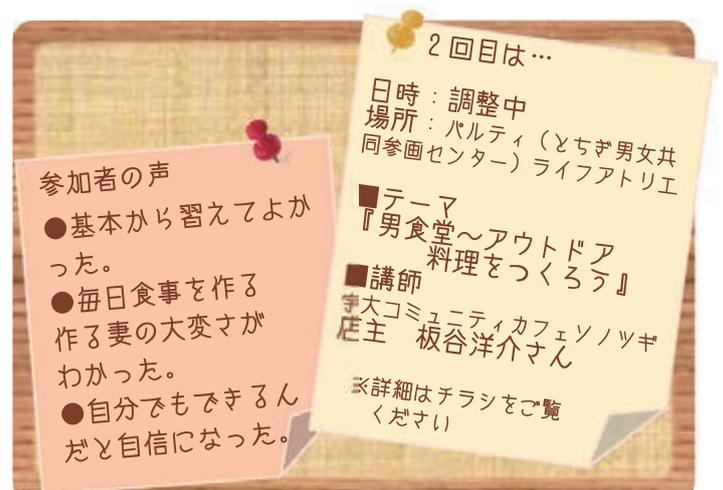
日本は世界でも類を見ない超少子高齢社会に突入します。労働力人口は大幅に減少するため、経済の安定と成長には、女性の労働力が不可欠です。これまで女性がそのほとんどを担ってきた、家庭生活（家事、育児、介護）や地域活動を、今後は性別に関わりなく、責任を分かち合いながら、だれもが取り組むことが必要となってきます。にもかかわらず、日本の現状は、6歳未満の子どもをもつ日本人男性の家事・育児にける時間は、1日平均1時間弱。欧米男性の3分の1くらい水準（総務省調べ）であるということがわかっています。

そこで女性研究者キャリア支援室では、女性にとっても男性にとっても暮らしやすい社会を実現するために必要なワーク・ライフ・バランスを推進する事業の一環として、9月20日（土）、男性の教職員を対象にした料理教室『OLÉ'S KITCHEN（オレズキッチン）』をスタートさせました。

この料理教室の目標は、「ムリなく」「楽しんで」。できるだけ多くの男性の教職員の方々に参加していただき、自らの生活を充実させるきっかけを作ってほしいと思っています。とちぎ男女共同参画センター（宇都宮市野沢町）の開放的なキッチンで開催した第1回目は、定食の定番しょうが焼きを作りました。講師は宇都宮市下戸祭でワイン bar

など経営する薄井良紀さん<sup>うまいよしのり</sup>。経営者でつくるグループに参画し、地域活性化を目指して、イベントなどの企画・運営や市街地の清掃活動など積極的に取り組まれています。今回の料理教室の参加者は、総務課などの職員の方々と学生で、日ごろはほとんど料理をしないという方が多く、キャベツの千切りも一苦労。講師の薄井さんのご厚意で、魚のおろし方も教えていただき、料理の奥深さに驚いた様子でした。

自活力が身に付く、この『OLÉ'S KITCHEN』は、今年度は2月まで毎月開催します。



# シンポジウムを開催します

平成 26 年 11 月 27 日 (木) 18:00~

本学の男女共同参画の推進と女性研究者研究活動支援に関わる取り組みを、学内者のみならず地域の方々に周知するために、公開シンポジウムを開催します。

女性の活躍を促進し、だれもが安心して暮らせる社会や職場環境を築くには何が必要か、一緒に考えてみませんか。みなさんのご参加をお待ちしております。

文部科学省女性研究者研究活動支援事業シンポジウム

## 『かがやく女性 輝く社会』

**日時** 11/27(木) 13:30~  
**場所** 大学会館 多目的ホール (峰キャンパス)

### 第1部 基調講演

「男女共同参画の現状と女性の活躍」

板東久美子氏 (消費者庁長官、前文部科学審議官)

### 第2部 パネルディスカッション

「女性のキャリア形成を考える

一栃木で活躍する女性たちと共に」

県内で活躍する4名の女性

※詳細は10月中旬以降配布のチラシ及び

男女共同参画推進室HPでご確認ください。

## Check !

世界経済フォーラムが公表した、ジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index、以下GGI) の2013年報告。日本は136カ国中105位で、今だ低位にとどまっています。GGIとは各国の社会進出における男女格差のこと。経済・教育・健康・政治の4分野から分析され「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味しています。日本は、2011年で98位、2012年は101位で、さらにランクダウンした結果となったのです。

このような社会的背景の中、本学では男女共同参画推進室を設置し、平成25年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業 (一般型)」に採択され、平成26年1月に女性研究者キャリア支援室を設置して、女性研究者が研究とライフイベントを両立するための環境整備に取り組みはじめました。

GGI (ジェンダーギャップ指数)

順位	国名	GGI 値
1	アイスランド	0.873
2	フィンランド	0.842
3	ノルウェー	0.842
4	スウェーデン	0.813
5	フィリピン	0.783
6	アイルランド	0.782
7	ニュージーランド	0.78
8	デンマーク	0.778
-	-	-
105	日本	0.65

世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書 2013」より作成

## おすすめ Books

貸し出し 月~金

PR

WLB 相談室から

支援室では、生き方や働き方、育児や介護などさまざまなジャンルの本を借りることができます。蔵書はHPで確認できます。ぜひご利用ください。



これでもいいだ!  
働くかあちゃん

ママで、働いて、奥さんやって、PTAやって、母はいつでも猛ダッシュ! 16歳、9歳と子育てをしてきてほっとしているのもつかの間、3人目がやってきた! 在宅

著者: ひらたともみ  
(中経出版)

で働くママのバタバタな楽しい生活を、笑いを交えて描くコミックエッセイ!

著者のひらたともみさんは宇都宮市在住のイラストレーター。年の差兄妹3人の母として、奮闘中。



ルポ 産ませない社会

まるで、「子どもが心配なら家で(母親)がみろ」と言わんばかりの環境が整ってはいないだろうか。マタニティ・ハラメント、“孤育て”、妊娠解雇、職場流産、

著者: 小林美希  
(河出書房新社)

ベルトコンベア化するお産...なぜ今、子どもを産むことに前向きになれないのか。子育てを未だに「女性」に押しつけ続ける現実を問う、痛切なルポ。

ワーク・ライフ・バランス (WLB) とは、簡単に言うと、「仕事と生活を良いバランスで保ち続けましょう」という事です。

一般的に WLB の取り組みは、職場と男性の意識の変革や人事規程等の再整備も必要なので、時間がかかることもあります。

しかし、ひとりひとりができることもあります! まずは、女性も男性も今までの働き方と家事・育児のあり方を見直すことが重要です。WLB 相談室では、業務や研究とライフスタイル (趣味などのプライベート、育児・介護等) の両立、職場・修学環境の問題などの相談や情報提供を行っています。

『とりあえず行ってみようかな!!』こんな気軽さで足を運んでください。



【編集・発行】

宇都宮大学 女性研究者キャリア支援室 (Fe-le)

<http://kyodo-sankaku.utsunomiya-u.ac.jp/>

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 5号館3階

TEL・FAX: 028-649-5151

e-mail: gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学 参画

検索



Facebook はじめました  
←こちらからどうぞ

